

令和 6 年度 3 学期 自己評価・学校関係者評価報告書(年中組)

令和 7 年 3 月 31 日
学) 広島ルーテル学園 西条ルーテル幼稚園

○本園の教育目標

- ①一人ひとりがかけがえの無い存在であることを知り、日々神様からの恵みに感謝する（感謝）
- ②集団生活の中でいたわりの心を持ち、仲間と喜びを分かち合う（喜び、いたわり）
- ③責任ある自由の基礎を身につけ困難に立ち向かう勇気を持つ（責任・勇気）

○評価項目の達成及び取り組み状況 ◎年少組（たんぽぽ組・すみれ組）
（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

	評価項目	評価	改善するために
保育目標	①子どもの主体性を大切にした保育を展開する	B	・子ども一人ひとりの好きなものや関心のあるものを教師が用意し、遊びや活動に意欲的に取り組めるよう、環境を用意したい。
	②学年の重点目標を意識した保育を行う	A	
保育	①子どもの様子を見ながら、一人ひとりにあった言葉がけをして表現力を伸ばす	A	・一人ひとりの発達段階や特性に合わせて、子どもが意欲的になれる声掛けを今後も意識していきたい。登園時に保育者と挨拶を必ず交わすことで、視診と名簿チェックの確認が出来るようになった。
	②日々の生活の中でその子の良い所を見つけ、肯定感が持てるような言葉がけをしている	A	
	③朝の登園時には視診を大切にして幼児の体調が悪くないか確かめている	A	
	④登園時に名簿をチェックし子どもの登園を確認している	A	
行事	①指導計画は幼児の興味や関心を考慮して作成し生活が豊かになるような行事を行っている	A	・子どもの興味・関心があるものを把握し、月案の作成を行っていった。行事を終えて出た改善点は、年中組の職員全員に伝え共通意識を持って子どもと関わったり、環境が用意出来るようにしていったりしたい。
	②行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	B	
環境・施設設備	①安全で清潔感のある環境構成をしている	B	・掃除の見直しを行い、清潔で安全な環境を整えられるようにしたい。
	②子どもの成長や季節に応じた環境構成をしている	A	
	③園内に危険な箇所がないか・危険な遊び方はないか等、常に観察している	B	

○本年度重点的に取り組む目標・計画

- （年少） ・礼拝を通して神さまの存在を知る。
・園生活の中での一日の流れを知り、いろいろな活動に意欲的に取り組む
- （年中） ・自分の思いを伝えたり友だちの思いに気付いたりしながら、共に生活することを楽しむ
・自分がしたい遊びを十分に楽しみながら興味や関心を広げていく
- （年長） ・共通の目的に向かって友だちと考えイメージを話し合い、協力して活動をすすめる。
・クラスの一員として、目標に向かって試行錯誤をしながら繰り返し挑戦し、充実感を味わう。

	評価項目	評価	改善するために
挨拶	①職員は子どもに挨拶の大切さを伝えている	B	・挨拶に関する絵本を読んだり、教師が手本として挨拶をしたりして、挨拶の大切さを感じられるようにする。
	②職員は保護者に対して気持ちのいい挨拶をしている	A	
	③一日を通し職員同士で気持ちのいい挨拶ができています	A	
保護者との連携	①保護者に子どもの姿を丁寧に伝えることを心掛け、連携をとっている	A	・日々の様子を伝えるだけではなく、どんな所が成長しているのかななどをドキュメンテーションで伝えられるようにしたい。
	②園の保育内容や子どもの姿が分かるように発信をしている(ドキュメンテーション・コドモン)	A	
職員間の連携	①職員間での連携が取れている(報連相)	A	・子どもの出来るようになったことや、トラブルなども担任、副担任で共有出来る時間を確保する。
	②子どもや保護者の事など、小さな事でも報告・連絡・相談等をしている	B	
	③日々の保育を振り返り、学年同士での連携をとりながら保育に生かす事ができている	A	
備考			